

公共交通を考えるワークショップ

第4回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

引田・代継・網代区域
《網代》

日時：平成31年1月19日（土）
午後7時～午後9時（予定）

場所：網代会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月6日（土））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月23日（金・祝））・・・開催済み
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（本日）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第3回ワークショップのふりかえり

地区へのアンケート調査結果の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

グループワーク

(1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、
どのようになりますか？

(2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力し
ていただけることはありますか？



第3回ワークショップのふりかえり

「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の確認

1. この地区の交通サービスの目的（素案）

高低差や狭い道幅に配慮した交通を確保する。

【いただいたご意見】

- 主な利用者の「足を確保すること」が目的ではないか。
- 買い物、通院交通の確保。
- 「小型車の」交通確保。

2. 主な利用者の想定（素案）

- （将来的に）免許返納をした方
- 自分で車を運転できない方

【いただいたご意見】

- 家人が車を使っている、お酒を飲んだなど、運転出来るけれど「たまたま」車が使えない場合への対応。

3. 交通サービスの候補（素案）

分類	サービス内容	備考
1) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・利用券の配布。
2) 住民主体の交通 (近所同士の相乗り)	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・出来れば市から自治会へ車両を貸与。
3) 定路線型の交通 (乗合タクシー)	・決まった路線を運行する。	・行政と地域で費用分担。 ・小型の車両での運行。
4) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	・出来れば市から自治会へ電動アシスト付き自転車を貸与。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。	

【いただいたご意見】

- ・「企業等送迎バスへの混乗※」を追加。

※当初は「幼稚園バス」でしたが、グループワークの結果、幼稚園バスへの混乗は難しい一方、ゴルフ場や霊園等の送迎バスへの混乗というご意見が出たため、表現を改めました。

3. 交通サービスの候補（素案）

それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

- サービス内容に関する具体的なご意見
別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「サービス内容に関するご意見」（3ページ）をご覧ください。

- 交通サービスのメリットとデメリット
次ページの概要をご覧ください。

※メリットとデメリットについて、詳しくは、別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「交通サービス（候補）のメリット・デメリット」（4ページ）をご覧ください。

交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見） 1/2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> • タクシー代を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>ドアtoドアの交通が可能。</u> • <u>経済的に助かる。</u> • <u>時間の融通や自由が利く。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>使いにくい時間（朝夕など）があるため、<u>仕組みづくりが必要。</u></u>
2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り）	<ul style="list-style-type: none"> • 住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>ドアtoドアの交通が可能。</u> • <u>コミュニケーションが生まれる。</u> • <u>ドライバーが顔見知りであるがゆえに安全。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>運転手の確保。</u> • <u>スケジュール調整（運転者、利用者、行き先）が大変。</u> • <u>費用負担が必要。</u> • <u>事故対応をどうするか。</u>
3) 定路線型の交通（乗合タクシー）	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった路線を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>専門の運転手がいるのなら安心して乗れる。</u> • <u>仕組みを確立すれば利用者が増える可能性がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>遠回りになることがある。</u> • <u>家から乗り場が遠いと大変。</u> • <u>利用者がいないとサービスが無くなる不安がある。</u>
4) 自転車の共同利用	<ul style="list-style-type: none"> • 地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>個人で利用しやすい。</u> • <u>使いたいときに使える。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>電動だと車体が重く、高齢者には不向き。</u> • <u>充電の管理が発生する。</u> • <u>使いたいときに使えないことがあり得る。</u>

交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見） 2/2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	<ul style="list-style-type: none"> 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 企業側との調整が必要だが、実現は難しいのではないか。 事故の際の責任。
6) 企業等送迎バスへの混乗	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフ場、霊園バスへの混乗。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者を降ろした後の空車が活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線が決まっており、乗降場が限られる。 利用時間が限られる。 仕組みづくりが重要。

地区へのアンケート調査結果の確認

1. アンケート調査の実施概要

○目的

区域にお住まいの方を対象に、公共交通に対する日ごろの考え方やニーズ、ワークショップで検討されている交通サービスの利用意向などについて、広く把握することを目的とする。

○調査対象

引田・代継・網代区域（網代）に居住する世帯
⇒各世帯から1名（91世帯。全世帯対象）

○調査方法

郵送配布、郵送回収

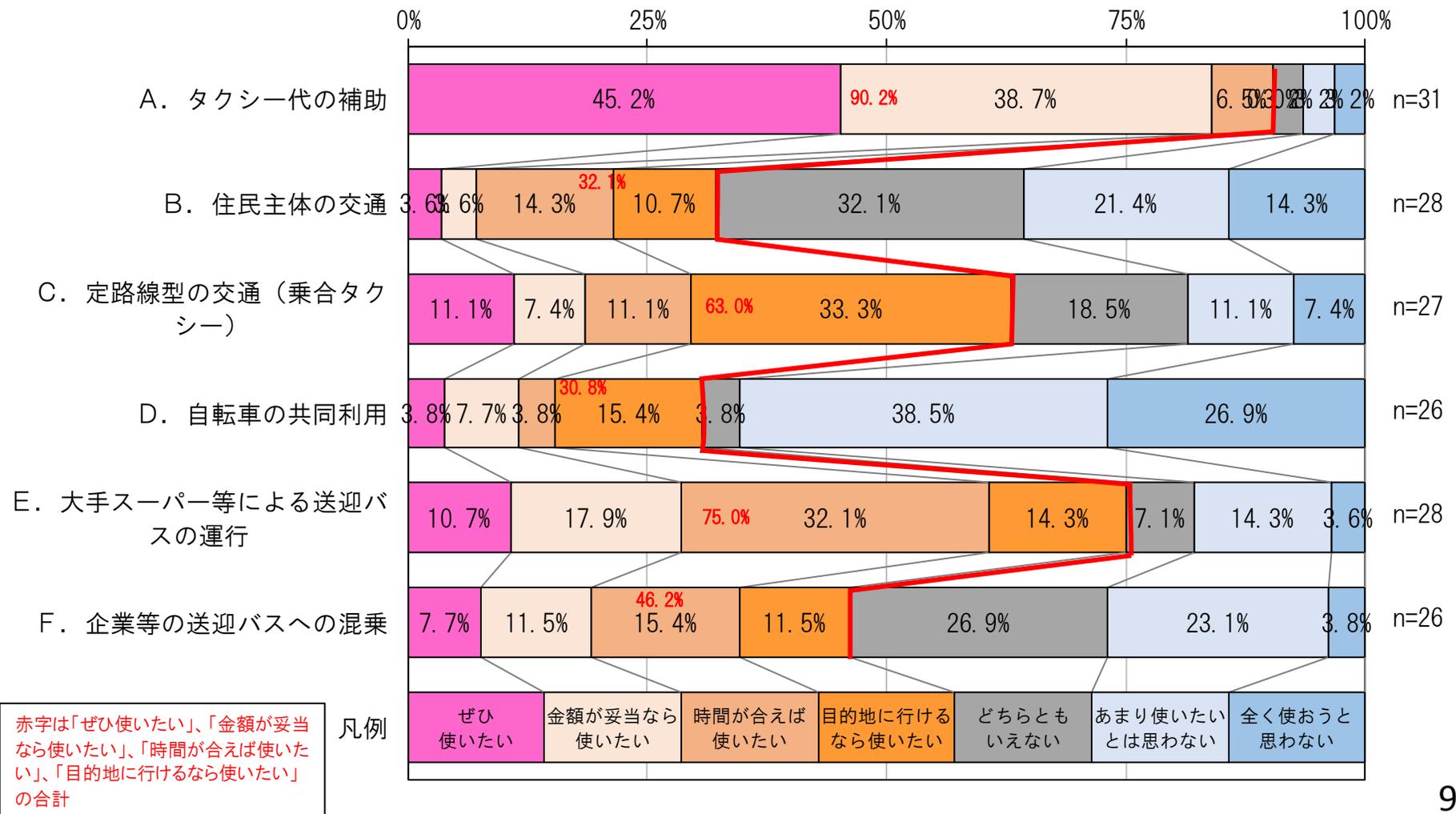
○調査期間

2018年12月14日～12月25日

2. アンケート調査の結果（概要）

■利用したいサービス

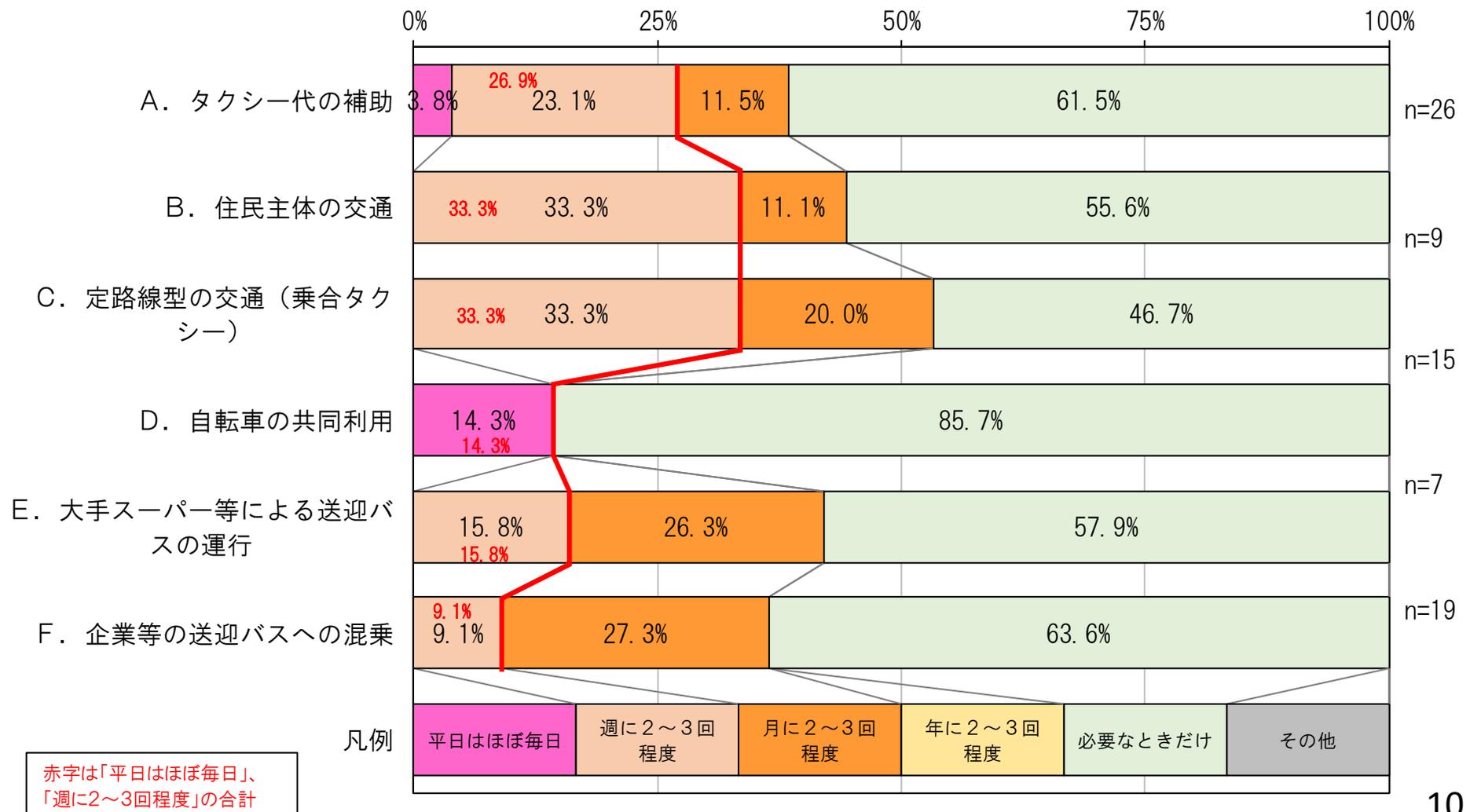
- 利用意向が60%を超えたのは、「A.タクシー代の補助」90.3%、「E.スーパー等による送迎バス」75.0%、「C.定路線型の交通」63.0%の3つでした。
- これらのうち、「A.タクシー代の補助」については「ぜひ使いたい」の割合も45.2%と高い一方、「金額が妥当なら使いたい」も次いで38.7%を占めています。



2. アンケート調査の結果（概要）

■ 利用頻度 ……利用したいサービスについて、どのくらいの頻度で利用したいか

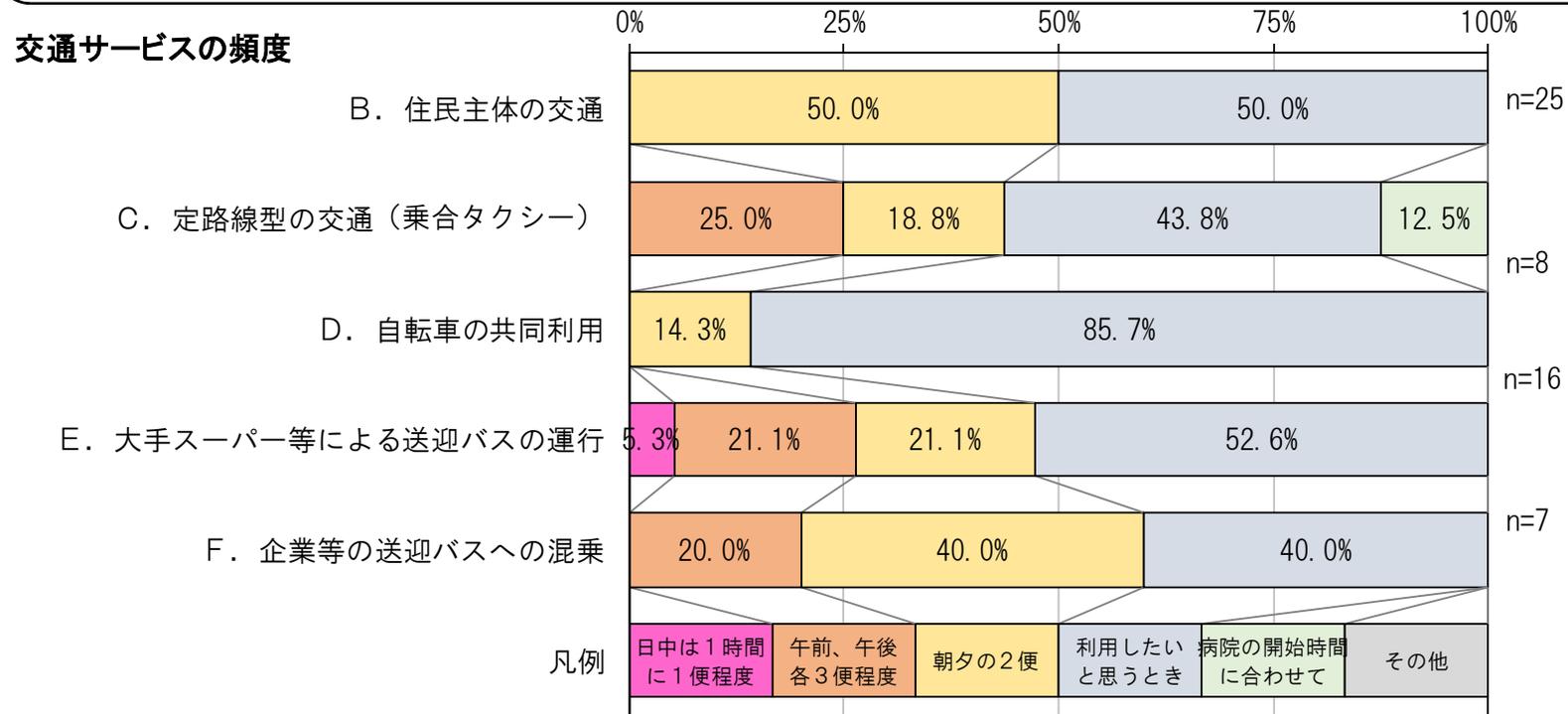
- 「週2～3回」以上利用したい人の割合が高いのは、「B.住民主体の交通」「C.定路線型の交通」の33.3%、「A.タクシー代の補助」26.9%の3つです。



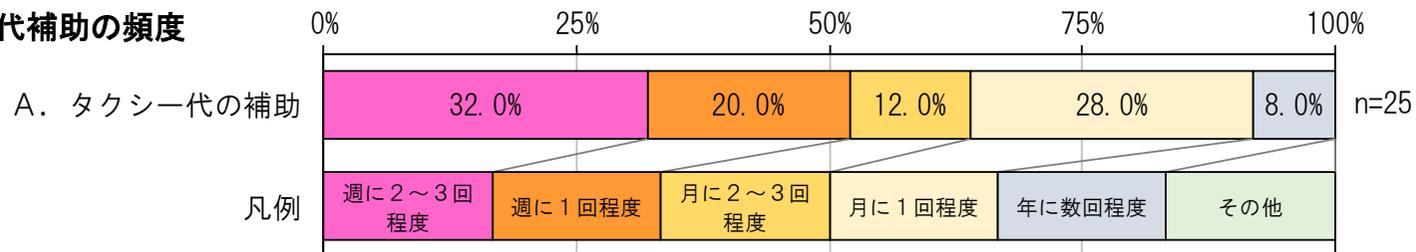
2. アンケート調査の結果（概要）

■ 運行頻度 …最低限、どの程度の頻度で運行されれば良いと思うか

- 「日中は1時間に1便程度」とする要望が見られるのは「E.スーパー等による送迎バス」5.3%のみで、「C.定路線型の交通」「E.スーパー等による送迎バス」「F.企業等の送迎バスへの混乗」では「午前、午後各3便程度」がそれぞれ25.0%、21.1%、20.0%です。



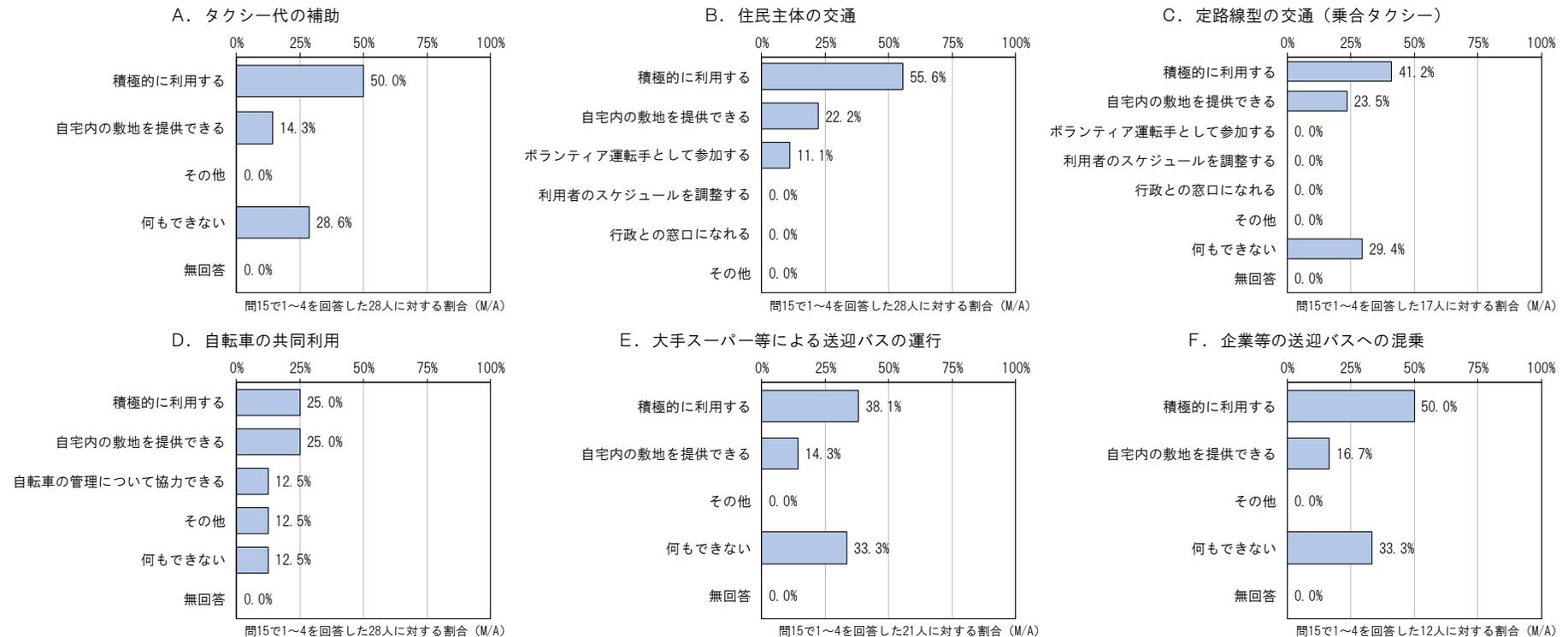
※タクシー代補助の頻度



2. アンケート調査の結果（概要）

■ 輸送サービスに対する支援 ……どのような支援ができると思うか

- 「D.自転車の共同利用」以外は、「積極的に利用する」という人が40～50%程度見られます。
- いずれのサービスにおいても、複数の方から「自宅内の敷地を乗降場等として提供できる」という回答がありました。

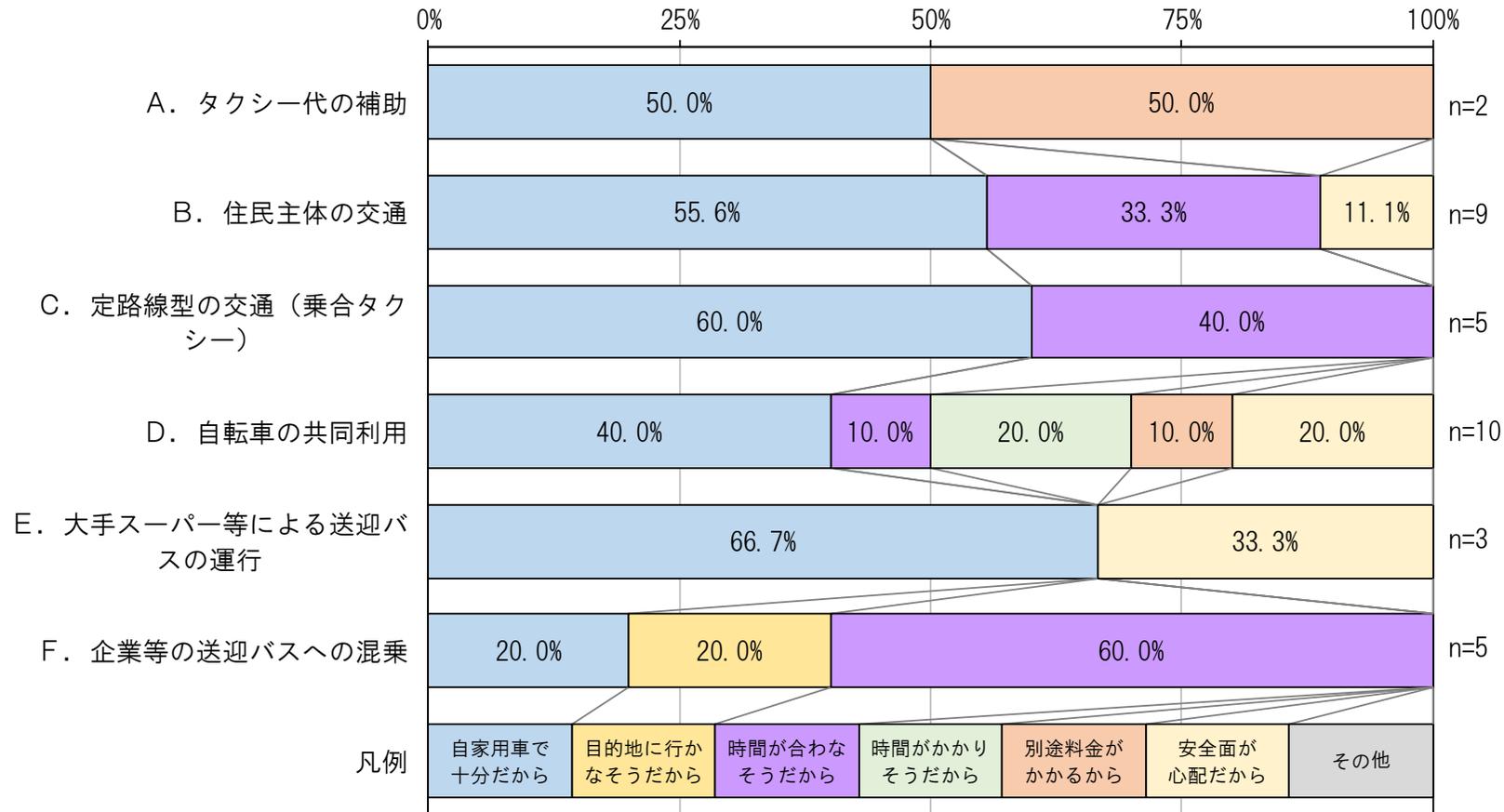


2. アンケート調査の結果（概要）

■ 利用しない理由

…「あまり使いたいとは思わない」「全く使おうと思わない」と答えたサービスについて、使わないと思う理由

- 「B.住民主体の交通」「C.定路線型の交通」「E.スーパー等による送迎バス」については、「自家用車で十分だから」が過半数を占めています。
- 「D.自転車の共同利用」では、「時間がかかりそうだから」「安全面が心配だから」もそれぞれ20%みられます。
- 「A.タクシー代の補助」については、「自家用車で十分だから」と「別途料金がかかるから」がともに50%となっています。



この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案

1. この地区の交通サービスの目的

主な利用者の方々の足となり、買物や病院に行く交通を確保する。

2. 主な利用者の想定

- (将来的に) 免許返納をした方
- 自分で車を運転できない方※

※「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含みます。

3. 交通サービスの候補

公共交通サービスの候補	想定されるサービス内容
① タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。
② 住民主体の交通 (ご近所同士の自動車の相乗り)	・住民の自主運行による交通手段を導入する。 (地域の方が運転手となり、車両を運行する)
③ 定路線型の交通 (乗合タクシー)	・決まった路線で小型車を運行する。 (網代地区から外出先までを往復する車両を運行する)
④ 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。
⑤ 大手スーパー等による送迎バスの運行	・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。
⑥ 企業等の送迎バスへの混乗	・企業等が利用者用に運行している送迎バスに同乗させてもらう。

本日のグループワークについて

第3回ワークショップ

- この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
- それぞれの交通サービスのメリットとデメリット（良い面と悪い面）



第4回ワークショップ

この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓（交通サービスの6候補）

交通サービスの優先順位付け

グループワーク1

交通サービス（候補）に優先順位をつけていただきます。



優先順位の高い交通サービス

協力していただけることの見出し

グループワーク2

これらの交通サービスを入れる際に、協力していただけることをお聞きします。



グループワーク（1）

交通サービス（候補）に優先順位をつけると、
どのようになりますか？

- 第3回ワークショップで整理したメリット、デメリットも踏まえ、**15ページ**に示した交通サービスの候補に優先順位をつけると、どのようになりますか？

グループワーク（1）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) 第3回ワークショップで整理したメリット、
デメリットの確認



2) それぞれ回答用紙の付箋に記入（上位3つ）



3) それぞれのテーブルでまとめ

グループワーク（２）

この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

- グループワーク（１）を踏まえて、優先順位が高い交通サービスを入れる際に、何か協力していただけることはありますか？

グループワーク（２）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) やることの確認



2) それぞれ付箋に記入。
付箋を模造紙に整理し、テーブル内で意見出し。



3) それぞれのテーブルでまとめ。

ワークショップのまとめ

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」ということについて、地区としての案をまとめました。



今後の取組を進めるうえでの検討材料として活用します。

〈今後の市の動き〉

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域のうち、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。

（どの区域で実証実験を実施するかは現段階では未定です）

- ・実証実験の実施に向けて、各種の調整を進めてまいります。

